



1385号

慈愛園乳児ホーム園長

潮谷佳男

いつも慈愛園乳児ホームを支えて頂きありがとうございます。今年度の計画としては第三者評価の受審年であったり、マニュアルの改変等の定例的な計画もあるのですが、そろそろ本体施設の改築の方を動いていかなければならないかと思い、とりあえず委員会の発足と他施設の見学を検討しています。関係施設にはご迷惑をおかけしますがよろしくお願ひします。実は私、建築家に憧れていた時代もありまして、家の配置図を描くのが好きなのです（自宅も私が描きました）。乳児ホームの配置とデザインも描いてみたのですが、何度やってみても納得が出来ない感じで…多分、理由としてはユニットケア（少人数部屋）というのをやったことがないので、あまり想像が付かないのだらうなと思います。頭でイメージするとかかなりの職員負担が増えるような気がしますね。全国的にはユニットケアが主流となりつつありますが、どうなんでしょうね？管理的にはユニットの方が大変そうです。働き方改革と家庭的養育とちも両立させるのは難しそうですが、色々考えて見ようと思います。（時間はあめんど…）。

2024年度事業計画

- (1) 不適切な養育についての予防・啓発委員会の立ち上げ—これに関しては職員自ら提案してきたものである上、社会的養護の中でも非常に重要な課題となっている。定着出来るようにしていきたい。
- (2) 感染症対策—コロナが落ち着いたことで感染症対策が疎かになっている現実がある。ノロやインフルエンザ等の重篤な感染症、また新型コロナも型を替え存在しているのは脅威として考えなければならない。
- (3) 施設内の研修の強化—要望通り行うのは難しいが「アタッチメント」「ケースマザー」「マニュアルの見直し」は行いたい。
- (4) 部会の継続—一部会研修は2023年度も行うことが出来たが、内容的にはルーティンに関わる部分が多かった。職員自身の研究課題にまで内容の向上を目指せるようにしたい。また、新たな委員会として「新築検討委員会」「マニュアル検討委員会」「勤務検討委員会」が発足しており継続強化を行ってほしい。
- (5) SV体制の強化—人事考課、職員目標設定、コミットメントシート、ケーススタディ、インリアルなどSV体制の定着は進んでいるがバイザーの理解に関しては多少の問題が出ているのも事実。計画的にSVの理解を深められるように研修を行ってほしい。
- (6) 「里親支援センター」としてのありかた及び効果的な援助、リクルートの検討を行う。フォスターリング機関から里親支援センターと名称変更が行われたが新たなシステムを構築していく足がかりの年度としたい。
- (7) 大型機械類、天井の補修など改修が必要なものが出てきている。

思い出アルバム

クリスマス

サンタの格好をして、歌やダンスを披露してくれました。



お正月

皆で食卓を囲み新年を祝います。豪華なおせち料理を目の前に「美味しい。」のポーズを取ってくれました。



ひな祭り

ケースマザーが選んでくれた着物を着てご満悦。可愛いお雛様がもう一人増えました。



子どもの日

袴を着て記念撮影。兜を被りみんなの健康を願いました。

園外活動

動物園に行きました。間近で見る大きな動物達に少し怖がっていましたが、帰園後は見てきた動物の名前を教えてくださいました。



室内遊び

たくさんのボールの上に寝そべったりお友達や職員とボールのやり取りをしたりして子どもたちは思い思いに遊んでいます。



こちら、現場からです（今回は心理士より）

ことばがよく出るようになった2歳のAちゃんは心理士との個別時間の中で、メルちゃん人形のお世話をしています。メルちゃんを椅子に座らせて正面に座り「いただきます。アーメン。」と養育者のように食事介助を始めます。「おかわりあるよ～」とAちゃんが声をかけたので、心理士がメルちゃんになりきって「おいしい～！おかわりちょうだい」と答えると「いいもの（デザート）」とメルちゃんの前にイチゴを出してくれました。日々の関わりが遊びにも象徴されて嬉しいやら面白いやら。今度はAちゃんのご飯の時間が迫り、心理士が「楽しかったね。お勉強はこれでおしまいだよ。」と伝えると「いや～。いや～」と床に寝そべって抵抗します。そこへ養育者が迎えに来て「Aちゃん。お勉強楽しかったね。まだ終わりがたくなかったんだね～」と声を掛けると「うん」と頷いて心理士とタッチして「またね」で終了できました。Aちゃんの成長はもちろん、日常の中に何度もみんな（職員）に救われているんだと改めて感謝した出来事でした。

☆編集後記☆

こんにちは。お日様が気持ちよく、爽やかな風が吹くようになりましたね。乳児ホームではよくお散歩に出掛けています。江津湖や県庁、神水公園、ローソンなんかにも行くんですよ。お散歩から帰ってきた子どもに「どこに行ってきたの？」と尋ねると「おかいもん。」と笑顔で答えてくれます。子どもたちの笑顔を見て暑い夏を乗り切りたいと思います。最後までご覧いただきありがとうございました。

お問い合わせ

〒862-0954

熊本県熊本市中央区神水1-14-1

TEL 096-383-5100

FAX 096-383-5102

ホームページも開設しています。ご覧ください。



<https://jiaie-home.com/>
<https://jiaie-nyuhome.com/>

